

コルテバ™
プリンス® スピノ™ 粒剤6

水稻育苗箱専用殺虫剤

- ・2つの作用で幅広い水稻害虫に優れた効果。
- ・は種時から移植当日まで幅広い使用時期。
- ・天然物由来の成分を含み特別栽培米におすすめ。



ダブルの効果で、死角なし。

■特長

1 2つの作用で幅広い
水稻害虫に優れた効果

異なる殺虫メカニズムのフィプロニルとスピノサドが組み合わさることで、ユニークな相乗効果が発揮されます。その結果フタオビコヤガをはじめとしたチョウ目害虫や、イネドロオイムシに対する優れた効果を実現しました。

2 幅広い使用時期

水稻に対する安全性が高く薬害の心配が少ないため、は種時から移植当日まで処理が可能です。また各種散布機（は種同時施薬機、動力散布機、移植時の施薬器具）に適した製剤になっています。

3 特別栽培米におすすめ

有効成分の一つであるスピノサドは天然物由来の成分なので、多くの『特別栽培米』で化学合成農薬の使用回数にカウントしない有効成分として認められています。

※一部の地方自治体によって基準が異なる場合があるので、ご使用前に関係機関にご確認ください。

■イネドロオイムシに対する効果

供試薬剤名	処理方法	齢期	移植29日後	移植36日後	移植43日後
プリンススピノ粒剤6	は種時 覆土前処理	卵塊	3	12	—
		幼虫	0	1	25
対照A剤	移植当日処理	卵塊	5	7	—
		幼虫	0	0	0
無処理	—	卵塊	17	25	—
		幼虫	4	28	117
無処理	—	卵塊	25	16	—
		幼虫	13	163	199

北海道立総合研究機構上川農業試験場 2012年

品種:ほしのゆめ 移植日:5月23日

発生状況:少発生 処理日:は種時覆土前処理 4月18日

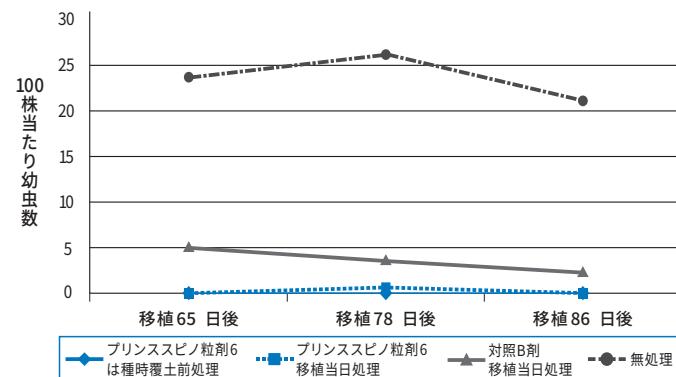
は種日:4月18日

処理量:50 g/箱

調査方法:各区50株について

卵塊数、幼虫数を調査

■フタオビコヤガに対する効果



（社）宮城県植物防疫協会 2012年

品種:ひとめぼれ 移植日:5月6日

発生状況:少発生 処理日:は種時覆土前処理 4月1日

は種日:4月1日 移植当日処理 5月6日

処理量:50 g/箱

調査方法:各区150~200株について幼虫数を計測

■適用害虫の範囲及び使用方法

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピノサドを含む農薬の総使用回数	フィプロニルを含む農薬の総使用回数						
稻 (箱育苗)	イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50g	は種前	1回	育苗箱の床土に均一に混和する。	1回	1回						
		高密度には種する場合は1kg/10a[育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50~100g]											
	イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類、ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ、イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50g	は種時 (覆土前) ~移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。								
		高密度には種する場合は1kg/10a[育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50~100g]											
	イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50g	は種時 (覆土前)										
		高密度には種する場合は1kg/10a[育苗箱 (30×60×3cm、使用土壤約5ℓ) 1箱当たり50~100g]											

△ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきってください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植時期を過ぎた苗などには薬害を生じやすいので、注意してください。
- は種時覆土前散布の場合、低温で生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。

- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壤約5ℓ）1箱当たりに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当たりの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当たりの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行ってください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△ 安全使用上の注意

- フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

保管…直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。● ラベルの記載以外には使用しないでください。● 小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。● 防除日誌を記帳しましょう。

製造

ダウ・アグロサイエンス日本株式会社

〒100-6110 東京都千代田区永田町2丁目11番1号

山王パークタワー

<https://www.corteva.jp/>



取扱

本資料は2022年3月現在の知見に基づき、作成されています。

殺虫剤分類

5,2B

■登録番号: 第24458号

■有効成分:スピノサド…0.75%
フィプロニル…0.60%

■有効期限: 3年

■包装: 1kg×12袋、9kg×1袋

プリンス[®]: BASF社登録商標